



# なないろ Vol.33 議案特集号

## 2023年度 第44回定期大会 開催にあたって



労連事務局長  
小鷲良平

日頃、加盟組合の皆さんには労連活動に対するご理解とご協力をいただきありがとうございます。また2022年度の活動もさまざまな制約の中、臨機応変な対応をいただいたことについても重ねて感謝を申し上げます。

2023年度 第44回定期大会の開催に向けて、議案の確認を含め準備にあっております。未だ、不確実性の高い時代において、想定される与件、またリスクを鑑みながら活動の計画を立案しております。グループ・企業も大きな転換期を迎える中、グループ・事業会社の労使がしっかりと向き合いながら、さまざまな対応にあたっていく重要性を改めて認識し、新たな時代における運動や活動を推進していかなければなりません。グループ労連の組織としての役割や存在意義を

見つめなおし、みなさんとともに取り組んでいきたいと思っております、引き続きよろしくをお願いいたします。

活動のスローガンを「創発の時代～原点と基本から共創する未来～」とします。グローバルにさまざまな与件を抱え、企業の営業活動や個人の生活基盤にも大きな影響を与えています。そして変化やその速さは落ちつきを見せることなく、数カ月、半年後の状況は想定できないことが発生する可能性を大きく秘めています。その都度、最大限出来る限りのベストな判断・決断をしていくための準備を整えておくことが肝要です。常に正しい認識を持ちながら、労連加盟組合が連携を強め活動を推進していければと思います。今年度も引き続き、コロナ対応を鑑みながら第44回定期大会を運営にあたって参ります。提案する議案内容について皆様の事前の確認をよろしくお願いたします。

### 第1号議案

### 2023年度活動方針

## 創発の時代 ～原点と基本から共創する未来～

迎える新しい時代は、環境変化に伴う価値観の変遷、DXなどの進行による技術革新、それに伴うニーズや需要の改廃、そして産業構造変化と新しいライフスタイル。このような状況にあり、半年先、一年先が見通せない非常に不確実性の高い社会環境に置かれています。昨年同様まさに、創発の時代。そのような状況にあって、労働組合組織はどうあるべきか。原点と基本に立ち返り、それぞれが自主・自立を前提にそこに集う全て人が未来を共創していく意識を高く持たなければなりません。組合活動における原点とは現場・職場であり、そこに働く組合員です。そして活動の基本的な考え方は「涸れた井戸から水汲めない」にあります。私たちセブン&アイグループ労連は、「寄りは大樹の陰と為らず」という考え方のもと、雨風を凌ぐための組織ではなく、それぞれの加盟組合が主体性・独自性をもって自立することを前提に、お互いを尊重し、意見し、鼓舞し、切磋琢磨し合う連合体でなければならぬと継承されています。

ここ数年の厳しい環境下に置かれているなか、「漫然と迎える」未来ではなく、「主体性を持って新しい創造で築く」未来を目指していく。

個人も組織も偶発的の事象に対し、瞬時にベストな判断でそれにあたらなければなりません。それには正しい認識と新しい情報に基づき、先見の明をもって備えておくことが肝要です。原点と基本に立ち、正しい認識と情報で先読みし、グループで共創する未来を目指して、取り組んでいきましょう

### 外部環境

- ウクライナ情勢
- 物価上昇 原油高
- 急速な円安 日米金利格差
- コロナ対応
- 慢性的 人手不足



### 内部環境

- CVS中心の成長戦略
- 事業ポートフォリオの見直し
- 経営と執行の独立性
- アクティビストとの対話
- 慢性的 人手不足

世界は継続的にコロナ防疫と経済活動の両立が求められるなか、消費や投資を中心に景気回復が進む見通しであるものの、世界経済の回復ペースは、ウクライナ紛争を機に大幅に鈍化すると見込まれる。原油高・物価高騰・急速な円安は企業の営業活動、個人における生活基盤に大きな影響を与え、今後も終息の見通しが立たない状況にある。

**原点と基本**  
グループ労使が果たす社会的責任

2015年以降、日本の企業経営が透明性の高い、多くのステークホルダーとの共感経営を目指すようになり、私たちグループもグループオーナー経営から持株会社と事業会社としての経営体制にシフトしていった。近年、資本や資産ということへの考え方が深耕され、企業に求められる成果は短期的な利益に向けられるような傾向になっている。

**唯一無二の 真の強い組織へ**

- ◆機関会議  
労連中央執行委員会  
労連・労協委員長会議  
労連・労協書記長会議 など
- ◆情宣・教室活動の推進  
機関紙の発行  
次世代に向けた情宣ツールの検討 など
- ◆組織の強化と拡大に向けて  
階層別ワークショップ  
ステップアップセミナー など

**健全なグループ 労使関係の構築**

- ◆労使パートナーシップ  
グループ労使協議会  
グループ労使懇談会  
グループ労使研究会
- ◆経営政策  
経営対策ウェビナー  
人事労務ウェビナー など
- ◆生産性向上運動  
自主商品購買運動 など

**豊かな明日を築く 政策・相互扶助の実現**

- ◆トータルライフサポート  
パンキン事業の改廃  
健康増進活動 など
- ◆日常的政治活動  
労連政治活動の推進 など
- ◆社会価値創造  
ボランティア活動の推進 など

## 第4号議案

## 顧問の委嘱

労連規約第29条に則り、機関会議にて顧問を選定し、大会承認をもって以下の方々に委嘱する

### 【特別顧問】



柳澤 光美 氏

### 【顧 問】



UAゼンセン総務人財局長  
生活応援事業局長 常任中央執行委員  
谷津 正信 氏

### 【顧 問】



UAゼンセン 総合サービス部門  
副事務局長  
千頭 洋一 氏

### 【顧 問】



UAゼンセン 中央教育センター  
センター長 特別中央執行委員  
近藤 三千代 氏

### 【顧 問】



UAゼンセン  
福島県支部 支部長  
荒川 聡 氏

### 【顧 問】



UAゼンセン  
栃木県支部 支部長  
森田 了介 氏

### 【顧 問】



UAゼンセン  
北海道支部  
福田 麻依子 氏

### 【顧 問】



UAゼンセン  
流通部門 執行委員  
松川 将也 氏

### 【顧 問】



UAゼンセン  
総合サービス部門 執行委員  
秋山 ゆり 氏

【役職は2022年8月時点】

## 第7号議案

## 上部団体役員就任に伴う承認決議

労連規約第31条に則り、機関会議にて確認をしたうえで、以下の方々の上部団体役員就任の承認決議を諮るものとする

氏 名	役 職
渡 邊 健 志	UAゼンセン 常任中央執行委員
北 山 淳	UAゼンセン 常任中央執行委員
阿出川 裕 果	UAゼンセン 中央執行委員

## 第2号議案

## 活動予算

労連規約第41・42・43条に則り8月末時点の組合数に基づき、算定をしていく

## 第3号議案

## 中央役員の選出

労連規約第7章、選挙細則に則り選挙管理委員会設置後、立候補を受け付ける

## 第5号議案

## 功労者表彰

労連規約第39条に則り候補者を選定し、9月の機関決議をもって決定する

## 第8号議案

## 加盟組合の脱退

労連規約第33条に基づき、当該組合の正規の機関の議決を経たことを前提に、今大会をもって承認決議を諮るものとする。

## 第6号議案

## 第20回統一地方選挙必勝決議

上部団体であるUAゼンセンは「政治活動指針」の周知・実践、日常的政治活動の推進を掲げ、2023年第20回統一地方選挙の必勝に向けて、その支援の取り組みを進めるとことを組織決定した。不確実性の高い時代において、私たちの生活基盤に直接かかわる課題が山積する中、高まる政治のリーダーシップの必要性、私たちの産業政策実現のためにも、その趣旨に賛同し必勝決議を諮るものとする

## セブン&アイグループ労働組合連合会 第44回定期大会告示

労連規約第15条ならびに議事運営細則に基づき、下記の要領にて第44回定期大会を開催することを通知する

— 記 —

日 時：2022年9月30日（金）

会 場：上野・東天紅

議 事：2022年度活動報告

2023年度活動方針 ほか7つの議案

以上

## 2023年度 中央役員選挙告示

労連規約第27条ならびに選挙細則に基づき、選挙管理委員会を設置し、下記の要領にて2023年度中央役員の立候補を受け付ける

— 記 —

受付期間：2022年9月12日（月）～20日（火）

方 法：立候補並びに推薦候補の二方法とする

手 段：加盟組合を通じて所定様式をもって届出る  
選挙管理委員長